

令和5年度 第1回半田市市民チャレンジ協働プラン推進委員会

開催日時	令和5年5月11日 10時～12時
開催場所	市民交流センター ミーティングルーム A/B
次 第	<p>1. 議題</p> <p>(1) 協働事業評価の事業選定について</p> <p>(2) チャレンジ 2030 の取組の選定について</p> <p>(3) 交流会について</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p>
出席者 (敬称略)	<p>日本福祉大学 特任教授 千頭 聡</p> <p>NPO法人 ぱれっと 副理事長 戸田 愛</p> <p>NPO法人 半田市観光協会 事務局長 榊原 宏</p> <p>ママのサポートリング 伊藤 里香</p> <p>生涯活躍のまちアドバイザー 池田 美恵子</p> <p>一般社団法人 SDGs design 代表理事 曾根 香奈子</p> <p>半田市社会福祉協議会 事務局長 小野田 靖</p> <p>元半田市区長連絡協議会 会長 藤牧 実</p>
事務局	市民協働課長（藤井寿芳）、市民協働課主幹（竹内雅香子）、市民協働課副主幹（鳥居ひとみ）、市民協働課（中川雅仁）
要旨録	
1. 議題	(1) 協働事業評価の事業選定について
事務局	【資料に基づき説明】
委員長	<p>選定する事業は、上手く進んでいる事業をより良いものにするために選定する、課題のある事業にアプローチして一歩前進させるために選定する、のどちらであっても構いません。</p> <p>また、事務局案として複数の提示をいただいておりますが、提案以外の事業を選定しても構いません。委員の意見をいただきながら5つの事業を選定したいと思いますので、事業の推薦をお願いします。</p>
委員	<p>確認です。今年度選定の5事業は来年度も継続評価しますか。</p> <p>それとも、来年度は別に選定の事業を評価しますか。</p>
事務局	来年度は、別の5事業を選定して評価する予定です。
委員	選定した5事業の協働相手である主体（団体）が、評価に伴う改善を望まないという場合

	は どう します か。
事務局	協働事業の改善に焦点を当てるのではなく、より良い事業展開のための助言、提言というところの理解を得られるようにしたいと考えます。
委員	資料中の効果・成果の項目の評価は担当課によるものですか。
事務局	はい。担当課による評価であり、関係者や団体との認識が異なっている場合もあります。
委員	担当課と関係者、団体との認識や事業の働きかけ方に対するズレを埋めることも、事業選定後の評価には必要となりそうです。
委員	事業番号 18 番（外国籍市民のための防災事業）を推薦します。市民活動助成金助成事業であり、多文化共生、防災など今やるべきことが集約されている事業であると考えます。また、将来的な展開も考えると有益であり、選定いただきたいと思います。
委員	事業番号 21 番（学！コラボ 2022）を推薦します。県の事業を参考に市の事業として立ち上がったものであり、NPO、企業、高校生といった多様な主体が関係し、市民活動を知る場としての意味や、仕組みづくりとしての期待値は高いと思います。 また、事業番号 139 番（あかちゃんとしょかん）は子どもの 3 カ月健診を利用し、読み聞かせ体験とあわせて子育てに図書館を活用できるとする点や、子どもの名前で貸出券の発行と本の貸出しまでできる点が良いと思います。ただ、あまり知られていない事業であり、行政と団体が考える効果・成果の差を埋め、より良いものにするために推薦します。
委員	事業番号 123 番（大学地域連携スポーツ推進事業）を推薦します。中学校部活動の地域移行が今後の課題としてある中で、地域スポーツクラブのウィークポイントのケアを大学と連携して実施する点で経過も含めウオッチしたい。また、令和 4 年度の新規事業で効果・成果共に担当課が 2 重丸をつけていることからどのように協働をしているかも見たいためです。
委員	事務局案で提示がありました事業番号 45 番（ごんの秋まつり運営業務）は、年々関わる主体が増え、現在はジャンルも様々な約 25 団体と多様な主体が関係しています。関係者は主体的に参加していますが、半田と阿久比の連携や今後の継続性の観点で推薦します。 また、事業番号 160 番（童話の森プロジェクト）は、45 番の事業とは異なり、これまでのイベントや事業に参加していた層とは異なる多様な主体が、地域資源を中心にどのように関わるかをテーマに始めた事業で、現在 35 名程度が活動しています。事業の課題は特に感じていませんが、好事例として参考にしてもらえれば推薦したいものです。
委員	事業番号 54 番（ふくし井戸端会議）を推薦したい。過去はこの事業を起点に、様々な事業が生まれています。近時、コロナ禍だったためか下火になったようにも見受けられ、今後の展開をどうするかも含め、評価対象とし助言するのが良いと思います。
委員	事業番号 59 番（フードバンク）を取り上げていただきたい。社会的に認知されてきたが、今

	後、この事業を継続していくと考えた場合、困窮者に寄り添った物品を提供できなくなるなど、資金面で非常に脆弱な事業であると思います。今後のために、課題を出して助言をいただくという意味も含めて推薦します。
委員	どれを推薦するということはありませんが、選定事業のバランスという観点で、①地域事業として事業番号 45 番（ごんの秋まつり運営業務）、②観光という点で事業番号 38 番（はんだ蔵のまちネットワーク）、③福祉の観点で事業番号 54 番（ふくし井戸端会議）、④官学連携として 1 事業、⑤環境という観点で 1 事業となると良いかと思います。 ただ、環境分野については、今回の候補事業にもこれといったものがないので、難しいのかもしれない。
委員長	それでは、各委員から推薦として意見のありました 8 事業から 5 つに絞るということで進めたいと思います。追加で意見があれば委員の発言をお願いします。
委員	事業番号 45 番（ごんの秋まつり運営業務）は、今後、彼岸花の整備をどのようにしていくかという課題も含めて対象事業とし、事業番号 160 番（童話の森プロジェクト）は次年度以降に改めて検討で構いません。
委員	事業番号 21 番（学！コラボ 2022）は、2 年目の状況も含めて次年度以降で評価でも構いません。
委員	事業番号 54 番（ふくし井戸端会議）は地域課題の掘り起こしも含めて、ぜひ取り上げて欲しい。事業番号 59 番（フードバンク）は、様々な課題を解決するために事業の仕組みや物品提供を行う側のルール作りを先行させる方が良いと思いますので、今回は対象から外し、今後の状況をみて対象事業とするかを判断するのが良いと思います。
委員長	委員の議論の中で、現状を総合的に判断して事業番号 59 番（フードバンク）を対象から外し、現在の事業主体である社会福祉協議会の中で先に議論いただくことでもよろしいですか。
委員	承知しました。
事務局	事業評価や助言を求めている生涯学習課の事業が選定されておませんが、委員の判断を仰ぎたいと思います。
委員	もう少し、協働事業を進展させてから評価対象としても遅くないと思います。
委員	社会教育の推進では、まちづくりの担い手を育てることも本来の目的のほうですが、この目的が忘れられているように見受けられます。
委員長	それでは、今回の事業選定において生涯学習課の事業取り上げについては見送りとします。生涯学習課にはエールとして、協働としての課題をしっかりと持ち、評価・助言を求めるような事業をすすめてもらいたいと事務局より助言をお願いいたします。

事務局	承知しました。
委員長	それでは、今回選定する事業5つを確認いたします。事業番号 18 番（外国籍市民のための防災事業）、45 番（ごんの秋まつり運営業務）、54 番（ふくし井戸端会議）、123 番（大学地域連携スポーツ推進事業）、139 番（あかちゃんとしょかん）の5つです。委員のみなさま、よろしいでしょうか。（異議なし）
委員長	今回取り上げた5つの事業については、8月に事業担当課の課長と担当者を含めた意見交換の場を設けることとなります。担当課には事業の課題を提起してもらい、委員が協働の視点で前向きにアドバイスする場としたいので、選定事業の担当課に対しては、事務局よりその旨をしっかり伝えていただき、事業を防衛したり、弁解するような場とならないようにお願いします。
1. 議題	(2) チャレンジ 2030 の取組の選定について
事務局	【資料に基づき説明】
委員長	この委員会の場の議論になじむかも含めて2つを選定したいと思います。 事務局案を複数提示していただきましたが、その他からの選定でも構いません。
委員	1-1-4（一小学校区一生涯学習施設） 事業のバックグラウンドとなる地域のこれまでの状況等を考えると、選定は好ましくないと考えます。
委員	1-1-5（キャリア教育）今年度選定事業として、事業の受け止める側（団体や企業）がどうしていかなければならないかをきちんと考えることが良いと思います。
委員	4-2-7（大規模公園整備）公園 PFI に興味がありますが、取り上げることはいかがですか。
委員長	担当課が PFI を導入するか否かが未定であり、この場での議論は難しい、馴染まないかもしれません。
委員	1-1-5（キャリア教育）進捗確認も含めて取り上げてはどうでしょうか。この事業については、取組にばらつきがあり、地域差、学校差が大きいと感じるため、いろいろな意味で応援できる事業だと思います。
委員	2-1-10（働き手不足の解消）働き手不足対応に外国籍市民をと考えることは良いが、そこを議論する前に普段の生活支援やサポート体制の構築の議論をセットにして考えなければいけない問題だと思います。この場での議論にはなじまないのではないのでしょうか。
委員	2-2-4（食品ロス削減）チャレンジしようとしている市と実際に動いている社会福祉協議会や協力者がともに食品ロスの削減に向けて、ルール作りをという議論や助言であれば取り上げても良いと感じますがいかがですか。
委員長	2-2-4（食品ロス削減）食品ロスの削減については、担当課が推進するとしている食品ロスダイアリーの活用という事に限定していく話でなければ、取り上げても良いのではないのでしょうか。

委員	2-1-8（農業の魅力・収益力向上） 6次産業化に向けた助言も分野として面白いと思いますがいかがですか。
委員	昨年度、市が第6次産業化のプロジェクトリーダーを採用しており、今年度から何らかの動きがでてくると思います。2-1-8（農業の魅力・収益力向上）はその動きを見たくて議論するかを判断した方が良いと思います。
委員	2-1-10（働き手不足の解消）について本質的に何が必要なのかという観点から、1-1-8（グローバル化への対応）の事業をゆくゆくは選定して議論することが望ましいと考えますがいかがでしょうか。
委員長	市の多文化共生に関する委員会等で議論を先行してもらう方が望ましいと思います。
委員長	それでは、これまでの議論から1-1-5（キャリア教育）、2-2-4（食品ロス削減）を取り上げたいと思いますが、委員のみなさまよろしいでしょうか。（異議なし）
1. 議論	（3）交流会について
事務局	【資料に基づき説明】
委員長	事務局説明のとおり、11月9日に交流会を開催し、委員のみなさまには各グループに1名ずつ参加いただきます。参加いただくグループは皆さんの希望に沿いたいと思いますので、委員より希望グループの発言をお願いします。
委員	第5グループをお願いします。
委員	第1グループをお願いします。
委員	第6グループをお願いします。
委員	第3グループをお願いします。
委員	第4グループをお願いします。
委員	第2グループをお願いします。
委員	当日は別件がありますので、欠席させていただきます。
委員長	それでは、ご希望いただきましたグループに、当日参加いただきますのでよろしくをお願いします。
2. その他	（1）今後のスケジュールについて
事務局	【資料に基づき説明】
委員長	委員のみなさまにおかれましては、ご予定をお願いします。 最後になりますが、7月、8月に開催する担当課との意見交換の場は、各委員より前向きなアドバイスを行う場となります。委員におかれましては、アドバイスとなる意見交換を積極的に行っていただきたいと思います。 また、繰り返しになりますが、担当課の側が防衛や弁解する場ではないことを、事務局はしっかりと担当課に伝え、前向きな意見交換の場として使用してもらうようにしてください。

	それでは、本日の委員会を終了します。
--	--------------------